香童の柊

壬生町立稲葉小学校 学校便り
平成29年11月17日
文責：校長 廣田 昌英

頑張る小学生

1年生の算数の授業を参観しました。繰り上がりのあるたし算です。9+3。9はあと「1」で10。だから3を、「1」と2に分ける。9と「1」で10。10と残った2を合わせて答えは12、となるそうです。7歳の頃はみんなこんなふうなたし算をしていたんですね。続いて2年生の算数の授業を参観しました。2の段と5の段のかけ算九九です。例えば 2×6 というカードを見せられた子が「にろくじゅうに」と答えるわけですが、半数以上の児童がまだまだあやふや、怪しい九九でした。8歳の頃はみんなこんなふう九九を覚えるのに苦労していたんですね。

我々大人にとっては当たり前で簡単なことを、小学生は必死になって身に付けています。子ども達の気持ちになって、励まして、ほめてあげたいですね。保護者の皆さんも助けてあげてくださいね。ところで.....親って子どもが何歳になるまで勉強を教えてあげられるんでしょうね？

家読

「うちどく」と読みます。親子で同じ本を読んでみたり感想を話し合ったりして、読書の習慣を身につけるとともに家族間の会話を促進しようというものです。本校でも、特にノーテレビ・ノーゲーム週間の際に推奨しています。そしてその感想の中には、「親子で読書をしてとても楽しい時間を過ごすことができた。」という意見が多数ありました。家読を難しく考える必要はありません。親子で別々の本を読んでもいいと思います。保護者の方はお子様の国語の教科書でもけっこうです。これから夜が長い日が続きます。御家庭でのひとときを、家読に使ってみてはいかがでしょうか。

稲葉小の玄関先

野中先生を中心にグリーンタイムと称して、全校一斉に花壇の整備を行っています。稲葉小の花壇のきれいさ、一部ではちょっと有名なんです。これからの時期、花壇

の主役はパンジーです。本校でも校舎南側の日当たりのいい花壇で咲き誇っています。

ところが、花壇にパンジーが植えられる約1週間前には、本校玄関先の寄せ植えも一新されていました。パンジーやビオラ以外にもミニクラメンなどを植え込んだ、相当本格的な寄せ植えです。誰の作品でしょう？そう、青柳教頭先生です。いつの間に苗を運んできてあんなにきれいに植えたのか、謎です。きっと手慣れたものなのでしょうが、おかげで本校の玄関先がたいへん華やかになりました。みなさん、御来校の際は是非、玄関先でたっぷりと花を愛でてからお入りください。

ありがとう！壬生中生！

11月の第2週は壬生中学校のマイチャレンジとして、5人の2年生が本校で体験活動を行いました。もちろん教師としての体験活動がメインではありますが、火曜日の2時間目には6年生の教室で、壬生中学校の先輩役をやらしてもらいました。5つのグループに1人ずつ付いてもらい、子ども達からの質問に答えてもらったのです。質問は「中学校にはすぐ慣れましたか？」「部活動は？」「先輩は？」「先生は？」など、壬生中への進学を控えた6年生にとって切実なものばかり。これらの質問にわずか2歳年上の先輩達は、とても丁寧に優しく答えてくれました。もちろん、6年生は目を輝かせて先輩の言葉に聞き入っていました。歳の近いお兄さん、お姉さんから実感のこもった話が聞ける機会はそうはありませんよね。5人の壬生中生、ありがとう！そして来年の4月からは壬生中の最上級生として、新1年生をよろしくお祈いします。

続、おめでとう！

10月30日、高山先生がパパになりました。しかも双子（ともに女の子）のパパです。おめでとうございます。これから子育てがたいへんですが、稲葉の子ども達も我が子のようにかわいがってあげてくださいね。